

平成25年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.1

推進目標	江差町の教育の推進		部門別計画(施策)	教育委員会総体		
基本事業(施策)名	教育委員会費		担当係	学校教育課総務係		
基本事業(施策)の対象	教育委員会に係る事務					
基本事業(施策)の意図	・教育委員会の意見を聞くことによる教育行政の民意を反映した計画の決定 ・教育行政に関するより深い理解を得てもらうための啓発・周知 ・教育長が教育委員会を代表して教育委員会の対外的な活動を推進(教育長交際費) ・教育、スポーツ、文化活動において優秀な成績者への顕彰をすると共に江差町 の教育、文化、スポーツの発展に寄与する。(奨励賞) ・教育長とPTA会長との教育懇談会の開催					
事務事業の評価						
施策目的のための事務事業		事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備 考
	教育委員報酬等	1,238,960	5	5	5	
	教育長交際費	117,064	5	5	5	
	教育委員会表彰	66,420	5	5	5	
	教育委員会の開催		5	5	5	
	教育長とPTA役員との教育懇談会の開催		5	5	5	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)						
増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江 差 町 教 育 委 員 会	評価	・定例教育委員会の開催ほか、町内の学校訪問・表彰式の挙行など優れた取り組みがいくつかあり、継続して成果が上がっている。				
	事業の方向性		さらに重点化する			
		○	現状のまま継続する			
			見直しのうえ継続する			
			事業の縮小を検討する			
		休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○平成27年度の「教育委員会制度」改正に伴い、新制度への移行がスムーズに行われるよう取り組むこと。 ○「江差町教育推進計画」の執行状況を確認し、更なる教育政策の推進を図ること。 ○学校・関係機関との連携を深める努力を今後とも継続すること。				

平成25年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.2

推進目標	江差町の教育の推進	部門別計画(施策)	教育委員会総体		
基本事業(施策)名	事務局費	担当係	学校教育課総務係		
基本事業(施策)の対象	教育委員会事務局に係る事務				
基本事業(施策)の意図	・江差町奨学金運営委員会の開催、奨学金貸付の審査及び運営の助言 ・教育委員会の運営、事業の実施に係る事務、研修会等の出席、負担金等 ・教育委員会事務局職員に係る給料及び各種手当等(教育長含む13人分)				
事務事業の評価					
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備 考
奨学金	6,860	5	4	5	
事務局運営費	4,141,245	5	5	5	
職員人件費	103,713,949	5	5	5	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1					
江 差 町 教 育 委 員 会	評価	・事務局運営に必要な経費(指導主事、事務補の配置等)として引き続き配置を継続することが出来た。 ・教育委員会職員の人件費を支出しており、成果が上がっている。 ・補助団体等の経理に関連し、町教委として各会計事務の定期的な監査に引き続き取り組んだ。			
	事業の方向性		さらに重点化する		
		○	現状のまま継続する		
			見直しのうえ継続する		
			事業の縮小を検討する		
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○職員総体で「江差町教育推進計画」の具現化に向けて努力を続けること。 ○各種団体等への補助金に対し、監査や監理の体制を再確認すること。			

平成25年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.3

推進目標	小中学校教育(小学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育
基本事業(施策)名	小学校管理費	担当係	学校教育課総務係
基本事業(施策)の対象	小学校教育環境整備、教職員住宅管理、スクールバス運行事務		
基本事業(施策)の意図	・小学校の校舎等教育環境の整備(江差小学校屋内体育館耐震改修工事・江差小学校屋内体育館サッシ改修工事の実施、南が丘小学校校舎耐震診断の実施) ・教職員住宅49戸に係る維持補修 ・江差北小学校児童のための通学バス運行 ・小学校遊具整備事業 ・小学校教員用パソコン整備事業		
事務事業の評価			
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性
教職員住宅	1,057,161	5	5
スクールバス委託	7,866,740	5	4
小学校整備事業	56,752,500	5	5
町内小学校の設備保守点検	4,736,232	5	5
小学校営繕	2,700,637	5	5
小学校遊具等改修事業	2,301,600	5	5
小学校教員用パソコン整備事業	1,390,095	5	5
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1			
江差町教育委員会	評価	・江差小学校屋内体育館耐震改修工事・サッシ改修工事の実施、南が丘小学校耐震診断の実施(2次診断の完了)、スクールバスの運行等、学校及び児童の教育環境整備が図られた。教職員住宅の整備については、例年同様、全ての要望に応えることができなかったが、優先順位を付けながら実施を図った。 ・小学校3校のすべての耐震化を終えることが出来た。	
	事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する	
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○小学校の耐震化に関しては、江差小学校体育館耐震工事の終了および南が丘小学校の耐震診断(二次診断にて基準値クリア)の実施により、すべての耐震化が終了したことは喜ばしいことであり評価する。 ○スクールバスの運行に関しては、今後、貸切バス運行料金の制度改正により大幅な増額が見込まれるが、運行料金の軽減を図るよう模索すること。 ○学校の各種修繕等については、各種制度を活用して今後とも継続して取り組むこと。	

平成25年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.4

推進目標	小中学校教育(小学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育		
基本事業(施策)名	小学校管理	担当係	学校教育課学校教育係		
基本事業(施策)の対象	小学校教育に関する学校運営及び施設管理				
基本事業(施策)の意図	《全ての児童が等しく享受することができる小学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある小学校教育の充実を図る》 ・学校に公務補を配置し、学校施設の日常管理を実施 ・教職員の定期健康診断の実施及び人間ドッグ等の費用の一部負担 ・児童の各種健診の実施 ・授業に必要な教材・教具及び学校図書の整備 ・学校施設の維持管理運営				
事務事業の評価					
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
公務補の配置	6,177,354	5	5	5	
各種健診	1,773,592	5	4	5	
教材教具・消耗品の整備	7,978,163	5	4	4	
学校管理運営	27,164,269	5	4	4	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1					
江差町教育委員会	評 価	・各学校の施設の維持管理に必要な公務補の配置や光熱水費等の負担により快適な学校環境の整備に努めた。 ・教職員及び児童(新就学児童含む)の健診を実施し、心身ともに充実した学校運営の実施。 ・一般授業や校外活動に必要な教材・教具の整備、学校運営に必要な一般備品、消耗品等を整備することに努めた。しかしながら、一部の消耗品費において、町外業者からの購入実績が多いことへの指摘を受け、改善に努めた。			
	事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○特別な支援を必要とする児童が増加傾向にある中で、特別支援教室の確保が求められるが、特に江差北小学校の特別支援教室の整備充実を図ること。 ○公務補の業務の特殊性を考慮し、待遇の改善について町部局と継続して検討すること。 ○授業に必要な教材・教具及び学校図書の購入に際して、限られた予算内で有効活用を図ること。 ○学校施設の維持管理について、優先順位をつけながら計画的な整備に努めること。			

平成25年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.5

推進目標	小中学校教育(小学校)の推進		部門別計画(施策)	学校教育		
基本事業(施策)名	小学校教育振興費・学校給食費		担当係	学校教育課学校教育係		
基本事業(施策)の対象	小学校の教育振興に係る事務					
基本事業(施策)の意図	《全ての児童が等しく享受することができる小学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある小学校教育の充実を図る》 ・教職員の加配を通じて個に応じた指導方法の工夫改善を実施し、個々の児童の学力の向上を図る。 ・ADHD・LDなどの学習障害を持つ児童に対する特別支援教育の充実 ・運動競技や外部講師による授業を通じ、心身共に豊かな児童の育成 ・低収入世帯の生徒に対する学用品費や給食費等の援助及び特別支援教育就学奨励 ・江差北小中学校における小中一貫教育の推進 ・「中1ギャップ」問題未然防止事業 ・小学校情報教育環境の整備 ・学力向上対策推進事業					
事務事業の評価						
施策目的のための事務事業		事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	小学校教育振興事務	804,680	5	4	4	
	特別支援教育支援員配置	5,925,986	5	5	5	
	江差町特別支援教育連絡会議の開催		5	4	5	
	江差町基礎学力向上対策会議の開催		5	4	5	
	退職教員等外部人材活用事業		5	4	3	
	要保護生徒等就学援助・特別支援教育就学奨励	3,789,040	5	5	4	
	小中一貫教育推進・「中1ギャップ」問題未然防止事業	631,047	5	4	5	
	小学校情報教育環境整備	804,132	5	5	5	
	学力向上対策推進事業	197,750	5	5	4	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)						
増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江差町教育委員会	評 価	・町内の各学校に特別支援学級が設置されているが、普通学級においても学習障害、自閉症等で学校生活及び授業において支援を要する児童が在籍しており、支援員を配置することにより、円滑な学校・学級運営に資することができる。平成25年度においては、予算及び人員の確保が図られ、各小学校に1名を配置することが出来た。 ・低所得世帯等への就学に要する学用品費及び給食費を支給することにより、義務教育の機会均等を図っている。 ・心身ともに豊かな児童の育成を目指すことを目的に、小体連の運営を補助した。 ・各種教育団体への補助を通じ、学校及び教職員の研修意欲を高めた。 ・教職員以外の外部の人材を活用し授業を行い、児童の興味、関心をひく授業を行っている。反面、平成23年度より配置されていた巡回指導教員の加配を得ることが出来なかった。 ・小中一貫の意義の習得及び教師及び地域住民の気運の高まりが図られた。 ・「中1ギャップ」未然防止事業については、北海道からの委託事業であるが、小中一貫教育を推進する上では共通する部分もあり、小・中学校の円滑な接続に更なる期待と成果を望むことが出来た。 ・江差町基礎学力向上対策会議を開催し、各学校の取り組み紹介や進捗状況の意見交換が図られた。また、平成25年度より、学力向上対策推進のための予算化が図られた。 ・更新が必要とされるパソコン教室のネットワークの改修が図られた。				
	事業の方向性	○ さらに重点化する 現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○特別支援教育支援員については、益々その必要性が高まっている中で、全小学校に配置された事は評価でき、今後とも継続配置すること。 ○「いじめ防止対策推進法」の施行に伴い、町及び学校において基本的な方針を確立するよう努めること。 ○虫歯予防を目的としたフッ化物洗口の取り組みを図ること。 ○小中一貫教育推進事業は、江差北小・中学校の「教育目標」の一本化や「PTAの統合」への動きがある中で、具体的な形として地域への発信がなされるよう更なる推進を図ること。 ○江差中学校区3校における連携事業としての「トライアングルサポート」事業が、義務教育9年間で子どもを育てる目的に向け連携協力し取り組みされるよう望む。				

平成25年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.6

推進目標		小中学校教育(中学校)の推進		部門別計画(施策)		学校教育						
基本事業(施策)名		中学校管理費		担当係		学校教育課総務係						
基本事業(施策)の対象		江差中学校整備、スクールバスの運行事務										
基本事業(施策)の意図		・中学校の校舎等教育環境の整備(江差中学校改築整備事業の実施) ・江差北中学校生徒のための通学バス運行										
事務事業の評価												
施策目的のための事務事業		事業コスト		必要性		経済・効率性		目的達成度		備 考		
中学校教育環境整備事業		526,741,686		5		5		5				
スクールバス委託		7,795,620		5		4		5				
町内中学校の設備保守点検		592,830		5		5		5				
中学校営繕		1,921,529		5		5		4				
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1												
江差町教育委員会		評価		・平成25年度より3ヶ年計画(校舎・屋内体育館2ヶ年、外構1ヶ年)にて改築工事を実施するための予算化が図られ、目標の初年度4割の出来高近くまで工事を進めることが出来た。 ・時数は限定であるが、休日の部活動にも対応出来るスクールバスの運行が図られた。								
		事業の方向性			さらに重点化する ○ 現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する							
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○平成26年11月に江差中学校の校舎・体育館が完成したことは大変喜ばしいことであり評価する。 加えて、平成27年度には「旧校舎の解体」・「グラウンド整備」が予定されていることから、「校舎・体育館」同様に万全を期して整備されることを望む。 ○スクールバスの運行に関しては、今後、貸切バス運行料金の制度改正により大幅な増額が見込まれるが、運行料金の軽減を図るよう模索すること。 ○学校の各種修繕等については、各種制度を活用して今後とも継続して取り組むこと。										

平成25年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.7

推進目標	小中学校教育(中学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育		
基本事業(施策)名	中学校管理	担当係	学校教育課学校教育係		
基本事業(施策)の対象	中学校教育に関する学校運営及び施設管理				
基本事業(施策)の意図	《全ての生徒が等しく享受することができる中学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある中学校教育の充実を図る》 ・学校に公務補を配置し、学校施設の日常管理を実施 ・教職員の定期健康診断の実施及び人間ドッグ等の費用の一部負担 ・生徒の各種健診の実施 ・授業に必要な教材・教具及び学校図書の整備 ・学校施設の維持管理運営				
事務事業の評価					
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
公務補の配置	4,118,236	5	5	5	
各種健診	961,028	5	4	5	
教材教具・消耗品の整備	5,242,469	5	5	4	
学校管理運営	9,084,174	5	4	4	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1					
江差町教育委員会	評価	・各学校の施設の維持管理に必要な公務補の配置や光熱水費等の負担により快適な学校環境の整備に努めた。 ・教職員及び生徒の健診を実施し、心身ともに充実した学校運営の実施。 ・一般授業や校外活動に必要な教材・教具を整備することが図られた。また学校運営に必要な一般備品、消耗品等を整備するとともに、学校図書の充実を図り、読書活動の推進に努めた。			
	事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○公務補の業務の特殊性を考慮し、待遇の改善について町部局と継続して検討すること。 ○授業に必要な教材・教具及び学校図書の購入に際して、限られた予算内で有効活用を図ること。 ○学校施設の維持管理について、優先順位をつけながら計画的な整備に努めること。 ○国の制度等を活用しながら、楽器等通常整備しづらい高額な備品等の整備をより図る一方で、整備されている備品についてのメンテナンス管理の徹底を図ること。			

平成25年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.8

推進目標	小中学校教育(中学校)の推進	部門別計画(施策)	学校教育			
基本事業(施策)名	中学校教育振興費・学校給食費	担当係	学校教育課学校教育係			
基本事業(施策)の対象	中学校の教育振興に係る事務					
基本事業(施策)の意図	《全ての生徒が等しく享受することができる中学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある中学校教育の充実を図る》 ・部活動などを通じ、心身ともに健康で豊かな生徒の育成 ・低収入世帯の生徒に対する学用品費や給食費等の援助及び特別支援教育就学奨励 ・中学校楽器及び畳の追加整備 ・中学校情報教育環境の整備 ・中体連陸上競技大会ユニフォームの整備					
施策目的のための事務事業		事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	中学校教育振興事務	115,800	5	4	4	
	中体連等出場補助	743,253	5	4	3	
	スクールカウンセラー活用事業		5	5	5	
	要保護生徒等就学援助・特別支援教育就学奨励	3,409,585	5	5	5	
	中学校楽器及び畳追加整備	1,227,939	5	5	5	
	中学校情報教育環境整備	536,088	5	5	5	
	中体連陸上競技大会ユニフォーム整備	699,300	5	5	5	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能)						
増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江差町教育委員会	評 価	・特別支援教育を必要とする生徒は増加しておりそのニーズは高まっていることから、引続き支援員の配置要望を続ける必要がある。 ・低所得世帯等への就学に要する学用品費及び給食費を支給することにより、義務教育の機会均等を図っている。 ・心身ともに豊かな生徒の育成を目指し、また、保護者の負担を軽減することにより生徒が積極的に中体連や吹奏楽祭などに出場できるよう経費の一部を補助している。(団体競技の全道大会等の出場の減) ・高額な楽器の整備やクラス編成によって不足する畳の整備が図られた。 ・更新が必要とされるパソコン教室のネットワークの改修をが図られた。 ・両中学校に統一した大会ユニフォームの整備が図られた。				
	事業の方向性	○ さらに重点化する 現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○中学校においては、現在、特別支援教育支援員の配置がないが、高校においても特別支援教育に取り組まれている状況や小学校からの児童の進学に伴い、そのニーズは確実に高まっていると考えられるので、中学校にも支援員の配置を図ること。 ○スクールカウンセラー活用事業における「心の専門家」としての教育相談体制の更なる充実と、その利用状況や傾向と対策についての把握に努めること。 ○「いじめ防止対策推進法」の施行に伴い、町及び学校において基本的な方針を確立するよう努めること。 ○小中一貫教育推進事業は、江差北小・中学校の「教育目標」の一本化や「PTAの統合」への動きがある中で、具体的な形として地域への発信がなされるよう更なる推進を図ること。 ○江差中学校区3校における連携事業としての「トライアングルサポート」事業が、義務教育9年間で子どもを育てる目的に向け連携協力し取り組みされるよう望む。				

平成25年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.9

推進目標	幼児教育の推進	部門別計画(施策)	学校教育		
基本事業(施策)名	幼稚園管理費	担当係	学校教育課総務係		
基本事業(施策)の対象	幼稚園に係る運営管理、事務				
基本事業(施策)の意図	・私立幼稚園への就園奨励費補助 ・江差幼稚園に対する運営費の一部補助 ・幼稚園教諭の出張、休暇等の際の代替教諭の雇用 ・あすなろ幼稚園事務(園長の報酬、運営に係る経費、施設の維持及び管理に係る経費、研修会等の参加)に係る経費				
事務事業の評価					
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備 考
幼稚園管理	4,800,761	5	4	4	
幼稚園代替教諭	241,900	5	5	5	
私立幼稚園就園奨励費補助金	1,067,500	5	5	4	
私立幼稚園運営補助	513,000	5	5	5	
幼稚園体験入園(未就園児対象)		5	5	5	
		5	5	5	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1					
江差町教育委員会	評価	・私立幼稚園への運営、事業費補助及び幼稚園就園奨励費補助金を支出し、幼稚園の安定的経営、保護者の負担軽減が図られた。 ・あすなろ幼稚園に係る運営体制を維持し、幼児教育の充実が図られた。また、未就園児を対象に、幼稚園体験入園を開催するなど、少子化の中、前年度並みの幼稚園児確保の取り組みが図られた。			
	事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○現在の少子化の進展を見据え、将来的な幼児教育や保育のあり方について、町部局との協議を進め、江差町の「子ども・子育て支援」の在り方について十分な協議を図り取り進めること。			

平成25年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.10

推進目標	家庭・地域の教育力の推進	部門別計画(施策)	学校教育		
基本事業(施策)名	奨学金貸付事務	担当係	学校教育課総務係		
基本事業(施策)の対象	奨学金の貸付事務				
基本事業(施策)の意図	・江差町に住所を有する者の子女で、高校、高等専門学校及び大学に進学を希望するも経済的理由により就学困難な者に対し、学資を貸与し、もって有能な人材の育成と確保を図る。 ・滞納整理の実施				
事務事業の評価					
施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備 考
奨学金貸付	2,718,000	5	4	4	
奨学資金積立金	3,071,089	5	4	4	
※ 事業評価欄の記載例 (尚、特記事務事業については、同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1					
江差町教育委員会	評価	・新規貸付については、採用枠(大学等3名以内、高校等4名以内)に留まり、追加の募集を行ったが結果として枠内に収まった。(大学等3名、高校等1名) ・就学に必要な奨学金を貸付し、保護者の負担軽減を図ることができた。 ・継続貸付者(大学等2名、高校等7名)への奨学金を貸付 ・償還金の滞納整理の実施に一層の努力をすること。			
	事業の方向性	☐ さらに重点化する ☐ 現状のまま継続する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する			
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○社会保障制度の見直し等による社会的変化に対応した制度設計の検討を今後も継続して取り進めること。 ○奨学金の滞納整理について、滞納防止対策の更なる推進を図りながら、なお一層の整理についての努力を続けること。			

平成25年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.1 1

推進目標	子ども達の夢を育み、地域全体で支える 青少年・家庭教育活動の充実		部門別計画（施策）	社会教育		
基本事業（施策）名	社会教育総務費、生涯学習推進費	担当係	社会教育課社会教育係			
基本事業（施策）の対象	①江差の特色を生かした青少年・家庭教育の充実 ②青少年健全育成のための安全安心な環境整備 ③親子の絆を深める子育て支援の充実					
基本事業（施策）の意図	1-1 郷土の自然や文化、歴史に感動する学習活動、体験機会の拡充 1-2 各種団体、組織などの活動を活用した体験、世代間交流機会の拡充 2-1 学校・家庭・地域が一体となった青少年健全育成活動の充実 2-2 ふるさとの一員として郷土愛を実感できる機会の拡充 2-3 家庭・学校・地域の教育力の向上 3-1 家庭の教育力を高める学習機会の充実 3-2 子育て支援環境の充実					
事務事業の評価						
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備 考
社会教育総務費・生涯学習推進費事業（計No.11～12同額）		9,674,249				
1-1	冒険王クラブ活動		5	5	4	
1-2	少年ふるさと学習(追分・尺八)、ふるさと江差発見学習、子ども百人一首大会		5	5	5	
1-2	少年の主張江差町大会、ジュニアリーダー派遣など		5	5	5	
2-1	各中学校区健全育成活動の支援、スクールガードの定着、子どもの居場所づくり		5	5	4	
2-2	成人式・新成人を祝う会、古談トーク		5	5	5	
2-3	三愛運動活動定着への支援、早寝・早起き・朝ごはん活動定着への支援		5	5	5	
3-1	江差町PTA研究大会等の支援		5	5	5	
※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能） 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江差町教育委員会	評 価	○少年教育は、冒険王クラブやふるさと江差発見事業など、地域の人材を講師として活用し、江差の特色ある歴史・文化・自然を生かした学習の推進が図られた。 ○青年教育は、社会人としての自覚と誇りをもつことのきっかけや郷土愛の育成に努めた。なお、式典は内容の一部見直しを行い充実を図っている。 ○子どもたちの健全な育成は、家庭・地域・学校 が協力が不可欠であり、各種講座や研修会を行ったほか、意識啓発のための実践的な行動やチラシの配布を行っている。				
	事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○事務事業を遂行する上で、地域全体で取り組むような体制を目指すこと。				

平成25年度

施策評価シート

No.12

推進目標	活気があり、人々が支え合い安心して生きる成人教育の充実		部門別計画（施策）	社会教育		
基本事業（施策）名	社会教育総務費、生涯学習推進費		担当係	社会教育課社会教育係		
基本事業（施策）の対象	①現代的課題に対応する学習活動の拡充 ②地域住民が支えあい学びあう地域活動への参加					
基本事業（施策）の意図	1-1 多様化、高度化する学習ニーズに応える学習、活動環境の充実 1-2 中高年、高齢者の学習機会、世代間交流機会、社会参加の充実 2-1 ボランティア活動への支援 2-2 協働のまちづくりの実践 2-3 地域間交流、国際交流の推進					
事務事業の評価						
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
社会教育総務費・生涯学習推進費事業（計No.11～12同額）		9,674,249				
1-1	社会教育団体(文化協会・体育協会等)への活動支援		5	4	4	
1-2	シニアカレッジ 江差学園の推進、えさしスクールの開催		5	5	4	
2-1	ボランティア団体への支援と連携		5	4	4	
2-2	江差学の推進		5	5	5	
2-3	国際留学生の集い、ホームステイ先の受入		5	4	3	
※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能） 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江差町教育委員会	評価	○シニアカレッジについては、昨年度末時点で51名が在籍し生涯学習活動に励む一方で、世代間交流の場を設けて学生自身の知識や知恵を還元するカリキュラムを組みながら運営の充実に努めている。また、毎年実施しているカレッジの学園祭は檜山管内の文芸作品点と同時開催し相乗効果が図られた。 ○社会教育団体の活動支援については、会場使用料の一部負担や学校体育館開放の調整などを行い、スポーツ・文化活動の継続と向上に取り組んでいる。 ○江差学は、運営委員が主体となり、江差を深く知り今まで以上に江差に誇りを持てる2講座を企画し45名の参加を得た。 ○国際交流活動については、留学生自体のニーズが減少傾向であるとともに、町としてもホームステイ先の確保が不可能だったことから実施していない。				
	事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○国際理解に関する事業展開に向けた議論を進めること。 ○江差学をはじめ成人が学習する機会の拡充を図ること。 ○各種団体の活動活性化を促しながら、社会参加意識の高揚を図ること。				

平成25年度

施策評価シート

No.13

推進目標	学び続け、自らを高め、明日を拓く 読書推進活動の充実		部門別計画（施策）	社会教育		
基本事業（施策）名	図書館費	担当係	図書館図書係			
基本事業（施策）の対象	①資料収集・提供 ②全域サービス ③すべての世代への読書推進					
基本事業（施策）の意図	1-1 資料・情報の収集と提供 1-2 学習支援・レファレンス機能の充実 1-3 読書環境整備と利用促進 2-1 移動図書館車の運行 2-2 配本所設定 3-1 ブックスタート及び関連事業 3-2 学校との連携 3-3 高齢者へのサービス					
事務事業の評価						
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	図書館費事業	7,455,643				
1-1	学習要求に応じた資料の購入・収集		5	4	4	
1-2	道立図書館等との相互貸借、広域利用による利用圏拡大		4	4	4	
1-3	年末特別貸出、テーマ展示、読書週間、クリスマス会		4	4	4	
2-1	移動図書館車の運行		4	4	4	
3-1	利用拡大		5	4	4	
3-1	両親学級、ブックスタート、あそびの広場		5	4	4	
3-2	団体貸出、調べ学習・利用体験の支援、学校との連携		4	4	4	
3-3	高齢者向け大活字本の収集		4	4	4	
※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能） 増加・寄与している場合 5 概ねできている場合 4 できている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江差町教育委員会	評価	○資料費が前年度対比で430千円増となったものの、引き続き全道平均の75%と低い状況であり住民の学習意欲に十分に抑えられていない部分がある。 ○移動図書館は、貸出冊数は減少したものの利用者人員が伸びている。 ○ブックスタート事業に合わせ、図書館へベビー用カートを配備することで乳幼児の保護者が施設を利用するうえでの利便性を高めた。 ○一人当たりの貸出し冊数が全道平均を下回っていることから、利用促進を図るため、広報やホームページでの情報発信、事業所への呼びかけ等を実施。広報誌でも図書館コーナーを設けているが、住民に対し図書館利用の機会を高める広報活動の展開を図る必要がある。				
	事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○魅力ある図書館を目指した蔵書の整備に努めること。 ○図書館に足を運んでいただける展示企画と広報活動に努めること。				

平成25年度

施 策 評 価 シ ー ト

No.14

推進目標	ふるさと江差の文化を高め、心豊かに生きる 芸術文化活動 の充実		部門別計画（施策）	社会教育		
基本事業（施策）名	文化会館管理費・文化振興費	担当係	社会教育課社会教育係			
基本事業（施策）の対象	①芸術文化活動に対する支援 ②芸術文化に親しむ機会拡充及び文化会館利用促進 ③芸術文化環境の整備充実					
基本事業（施策）の意図	1-1 芸術文化活動への支援 1-2 芸術文化を活用した交流機会の充実 2-1 舞台芸術などの鑑賞機会の充実 2-2 大規模コンベンションの誘致 3-1 芸術文化環境の管理運営 3-2 施設管理の充実					
事務事業の評価						
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備 考
	文化会館管理費・文化振興費事業	36,037,513				
1-1	江差町文化協会の運営と支援		5	5	5	
1-1	みちくさ事業(ギャラリー・コンサート)、みちくさ事業との合同発表、管内文化団体連絡協議会事業への参加支援		5	5	5	
1-1	江差町文化祭		5	5	4	
2-1 2-2	舞台公演・各種大会等の開催誘致、舞台発表行事への支援		5	4	4	
3-1	指定管理者制度導入による貸館業務の充実		5	5	5	
3-2	文化会館施設の維持、舞台環境の維持		5	5	4	
※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能） 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江差町教育委員会	評 価	○文化協会加盟団体及び町民による芸術文化活動の発表の場として、町民文化祭の実施や、「みちくさギャラリー及びコンサート」では事業の効果を高めるため複数の団体による連携事業も支援している。 ○江差町文化会館は指定管理者制度導入から3カ年。最終年として制度自体の検証を行い、新年度選定に向けた見直しを実施した。 ○江差追分全国大会をはじめとした江差町行事での活用のほか、学校における吹奏楽の定期公演や文化団体の発表など舞台行事においての文化会館の活用が図られている。 ○文化会館の老朽化が進んでいる。利用者の安全や催し物が問題なく行われるように不具合個所の修繕と改修に努めた。 ○子どもたちが芸術文化に触れる機会を確保するため、劇団四季の誘致を行った。				
	事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○町民が文化に親しむための環境作りに努めること。 ○老朽化が進む文化会館に関して、引き続き利用者や町民の視点に立ち、計画的な修繕と改修に努めること。 ○指定管理者の視点を活かし、文化会館を活用した自主事業の展開を促すこと。				

平成25年度

施策評価シート

No.15

推進目標	ふるさとの自然と、貴重な文化遺産を未来に伝える文化財・博物館活動の充実		部門別計画（施策）	社会教育		
基本事業（施策）名	文化財保護費	担当係	社会教育課地域文化係			
基本事業（施策）の対象	①ふるさとの資料を集める ②ふるさとについて調べる ③ふるさとについて発信する					
基本事業（施策）の意図	1-1 町内文化財の把握や町内外の資料収集と保管 2-1 調査・収集した事柄について町民とともに調査 3-1 調査・収集した事柄について町内外に発信					
事務事業の評価						
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	文化財保護事業費	10,706,326				
1-1	文化財の把握、郷土資料の収集・保管		5	5	3	
2-1	文化財の調査・保存、所蔵資料の調査・研究		5	5	2	
3-1	各施設の常設展・企画展、教育普及活動		5	5	4	
3-1	学校との融合(追分授業・尺八授業・ふるさと学習)		5	5	5	
3-1	インターネットによる情報発信		5	5	3	
3-1	文化財施設の維持管理		5	4	4	
※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能） 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江差町教育委員会	評価	○江差追分を各学校で学べる体制を前年に続き維持し、子どもたちが自分たちの暮らす郷土の宝を実際に触れる機会を設けた。 ○「ふるさと江差に心の向く教育」を推進するため、学校や各施設、自然景勝地などで見学をサポートしたほか、「百印百詩」に因んだハンコづくりなどの体験学習を支援した。 ○博物館活動の中の展示活動として、3つの常設展を開催し、特に「写真と絵で振り返る江差線」企画展は3千人を超える来場者を得た。（旧檜山爾志郡役所の有効活用） ○旧中村家住宅漆喰壁などの修繕を進め適切な文化財の保存をすることができた。 ○住民からの資料提供に対応し受け入れは進めているが、所蔵資料についての整理は進んでいない状況にある。				
	事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○「ふるさと江差に心の向く教育」関連事業を強化すること。 ○江差の歴史や文化を後世につなぐための資料について、整理を進めること。				

(別紙1)

江差町教育委員会

平成25年度

施策評価シート

No.16

推進目標	健康で楽しく、さわやかに生きる生涯スポーツの充実		部門別計画（施策）	社会教育		
基本事業（施策）名	保健体育総務費、体育施設費	担当係	社会教育課社会教育係			
基本事業（施策）の対象	①生涯スポーツの推進 ②生涯スポーツの環境の整備、充実					
基本事業（施策）の意図	1-1 生涯各時期に応じたスポーツの普及 1-2 地域の特色を生かしたスポーツの普及 1-3 学校体育授業及び部活動への支援 2-1 スポーツ活動の指導体制確立とスポーツ団体の育成 2-2 スポーツ施設の管理運営 2-3 スポーツ施設の有効利用					
事務事業の評価						
推進計画該当項目	施策目的のための事務事業	事業コスト	必要性	経済・効率性	目的達成度	備考
	保健体育総務費、体育施設費事業	19,819,793				
1-1	夏休みこどもスポーツスクール、冬休みこどもスポーツキャンプ		5	5	5	
1-1	マイスポーツの奨励・推進、スポーツ団体・サークル活動の支援		5	5	4	
1-1	スポーツ少年団交流大会、管内スポーツフェスタ、体協まつり、マスターズ陸上江差大会など		5	5	5	
1-2	江差カップオープンヨットレース、スポーツ普及事業		5	5	5	
1-3	学社融合スポーツ授業、スポーツ少年団・部活動への支援		5	5	5	
2-1	スポーツ推進委員、スポーツ少年団認定養成		5	5	4	
2-1	江差町体育協会・江差町スポーツ少年団本部との連携		5	5	5	
2-2	スポーツ施設の管理（施設修繕・芝生整備含む）		5	5	4	
2-2	AEDの設置、普通救命講習の開催		5	5	5	
2-3	体育協会加盟団体及びスポーツ少年団への支援、学校体育開放事業		5	5	5	
2-3	江差港マリナ・開陽丸センターとの連携、まなびっく（体育館）との連携		5	5	5	
2-3	施設の専門性・地域の特色を生かした合宿・大会誘致		5	5	5	
	学校給食センター負担金	39,964,000				
※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能） 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1						
江差町教育委員会	評価	○運動公園多目的グラウンドは、檜山唯一の4種公認グラウンドの更新を行い、各種大会記録が公認される状況を確認した。 ○生涯にわたって継続できるスポーツ機会の提供として、水泳及びスキーの技術習得のための教室を行い、少年期における体力向上対策と、長期休暇中におけるスポーツ機会の提供を図った。 ○各スポーツ施設は芝生や鉄製品の劣化が進むが、原材料購入等により職員の手で補修・修繕を進めている。 ○AEDを用いた普通救命講習を2回実施し、運動公園管理人及び水堀町民プール管理人には受講を義務付けて施設管理上の安全を高めた。なお、講習は一人でも多くの住民がAEDによる救命措置が可能となるよう一般住民にも呼び掛け実施している。 ○町民皆スポーツの推進を図る観点から、体育協会やスポーツ少年団と連携し、各世代がスポーツに取り組める機会や各種講習会を実施している。				
	事業の方向性	☐ さらに重点化する ☐ 現状のまま継続する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する				
外部評価委員会の意見		○評価は妥当と認める。 ○町民がスポーツに親しむ環境づくりに努めること。 ○野球場や多目的広場について、対外的PRを強化し合宿や大会の誘致を図ること。				